

令和元年度 第2回「生徒による授業評価」集計結果一覧 (R1.11/11～11/22実施)

質問項目

- (1) 毎時間の授業や単元(内容のまとまり)のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある。
- (2) 単元(内容のまとまり)の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。
- (3) 単元(内容のまとまり)の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある。
- (4) 授業の中で、他の教科内容や現実社会と関連づけて学ぶ場面がある。
- (5) 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感すること
- (6) 他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた。
- (7) 授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた。
- (8) 授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた。

(注) 生徒主体の授業…話し合い、発言、発表の機会がある。問題を解いたり、文章を作成する時間がある等。

4:かなり当てはまる

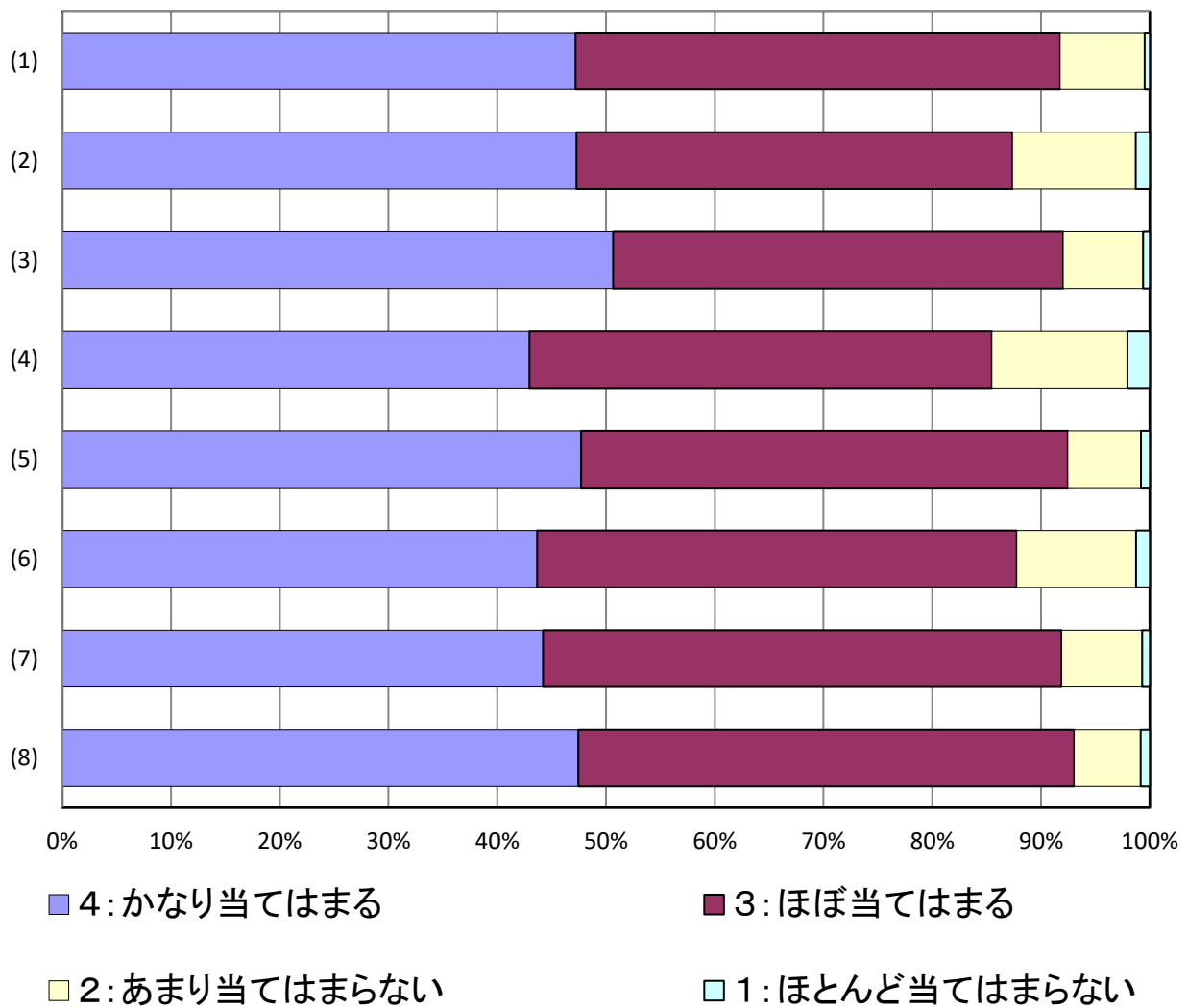
3:ほぼ当てはまる

2:あまり当てはまらない

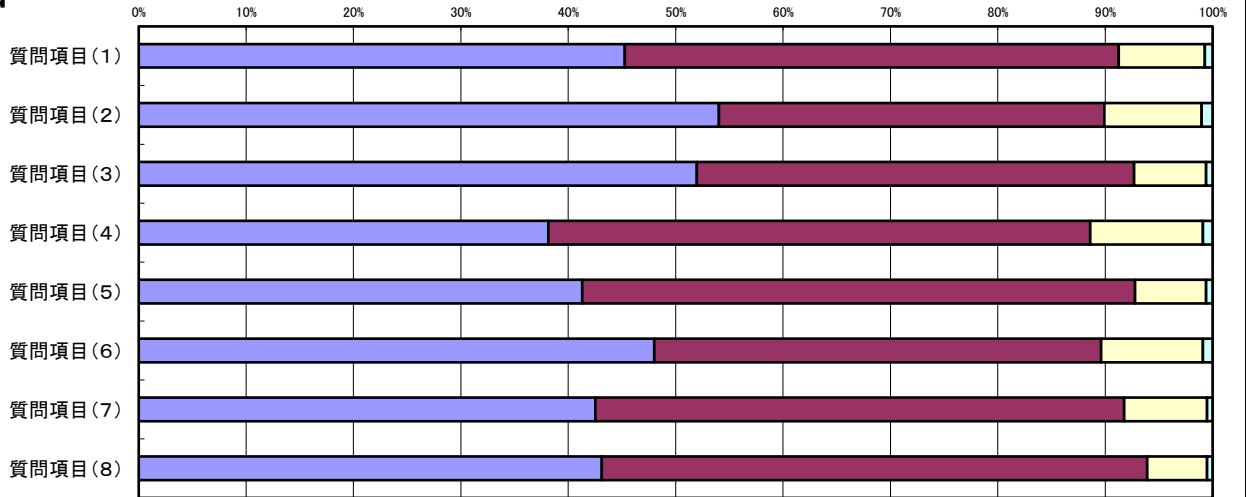
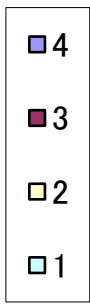
1:ほとんど当てはまらない

(記名式・各授業内で実施)

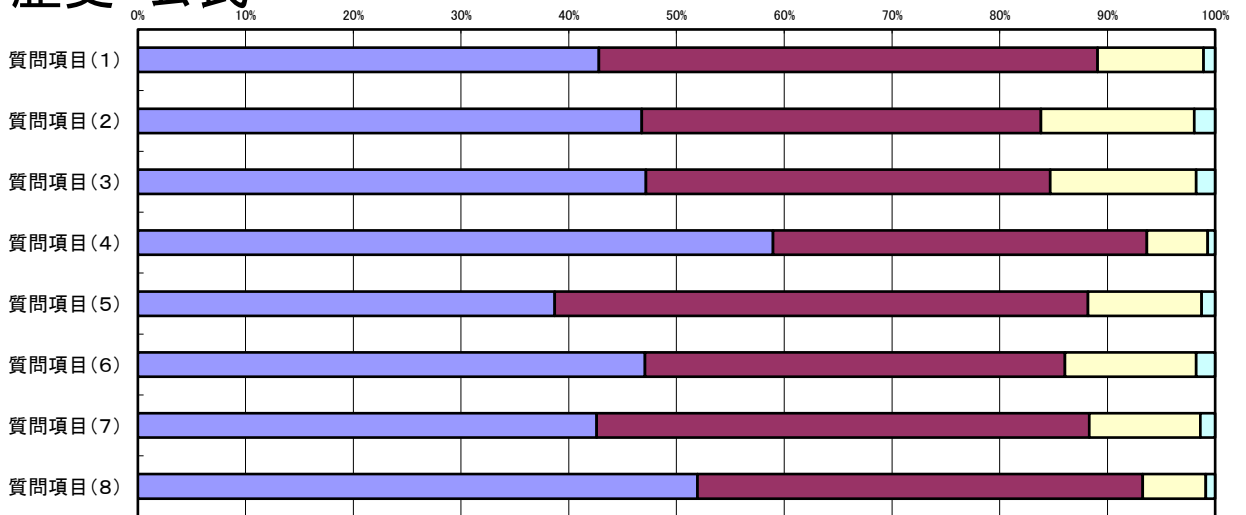
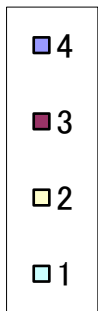
第2回 全教科集計



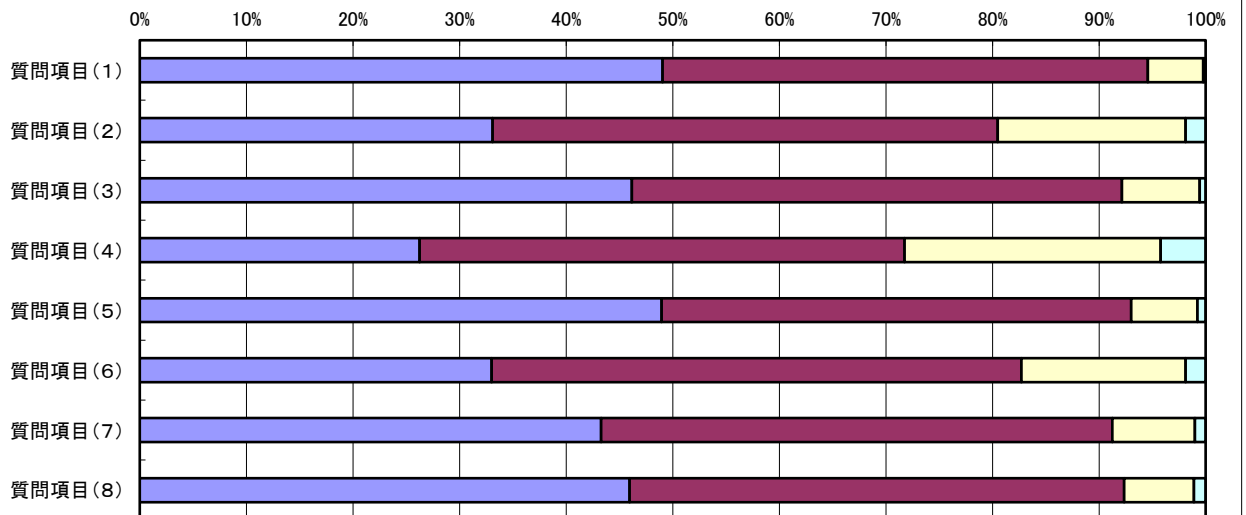
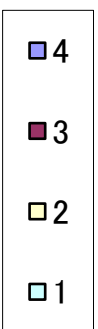
国語



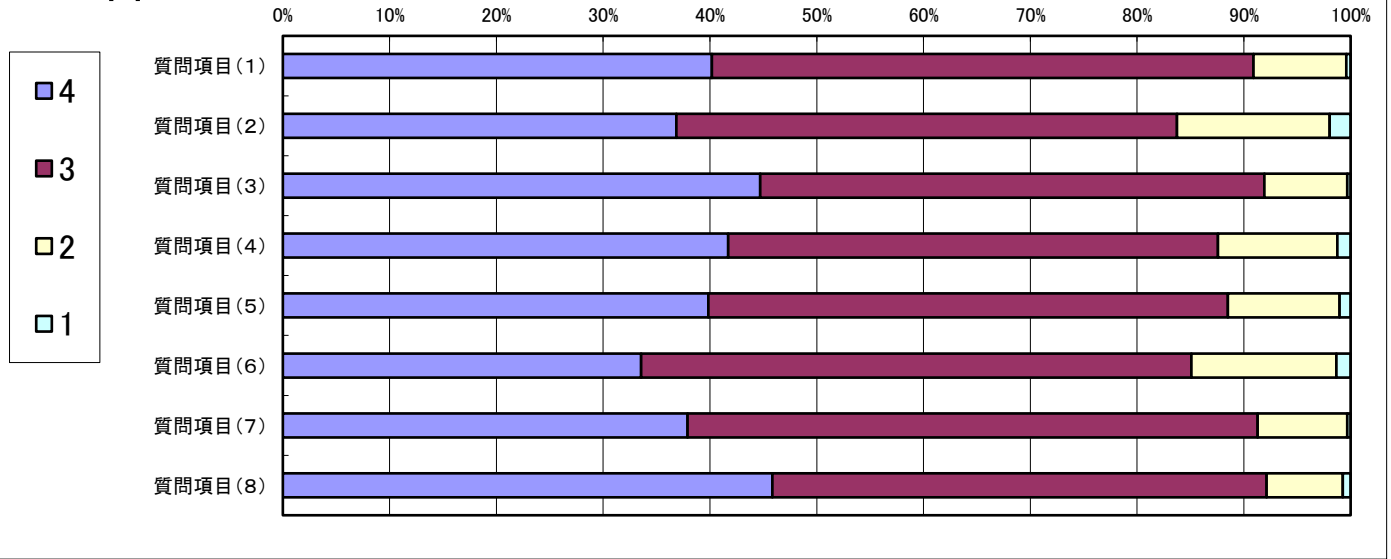
地理・歴史・公民



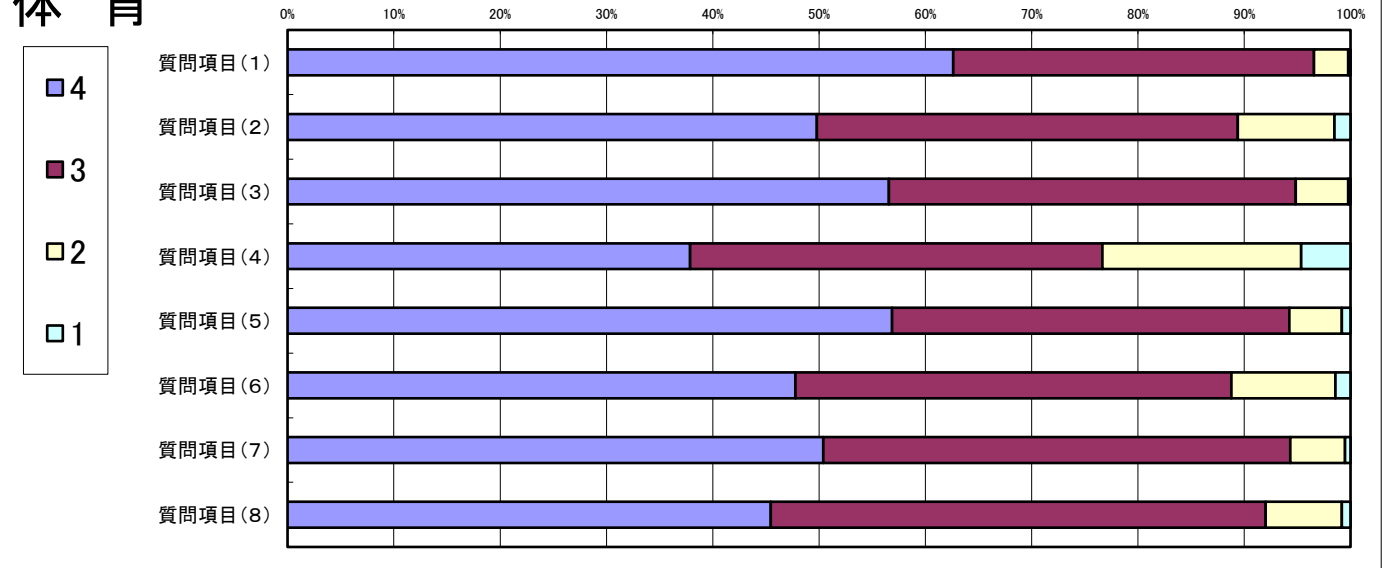
数学



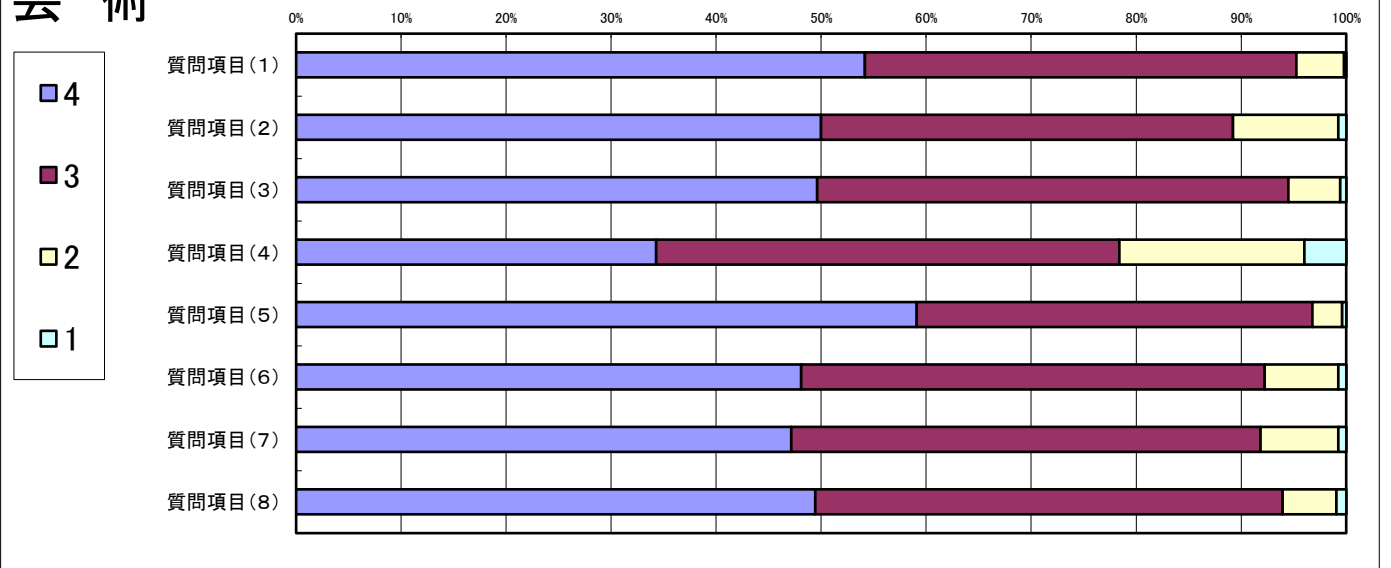
理科



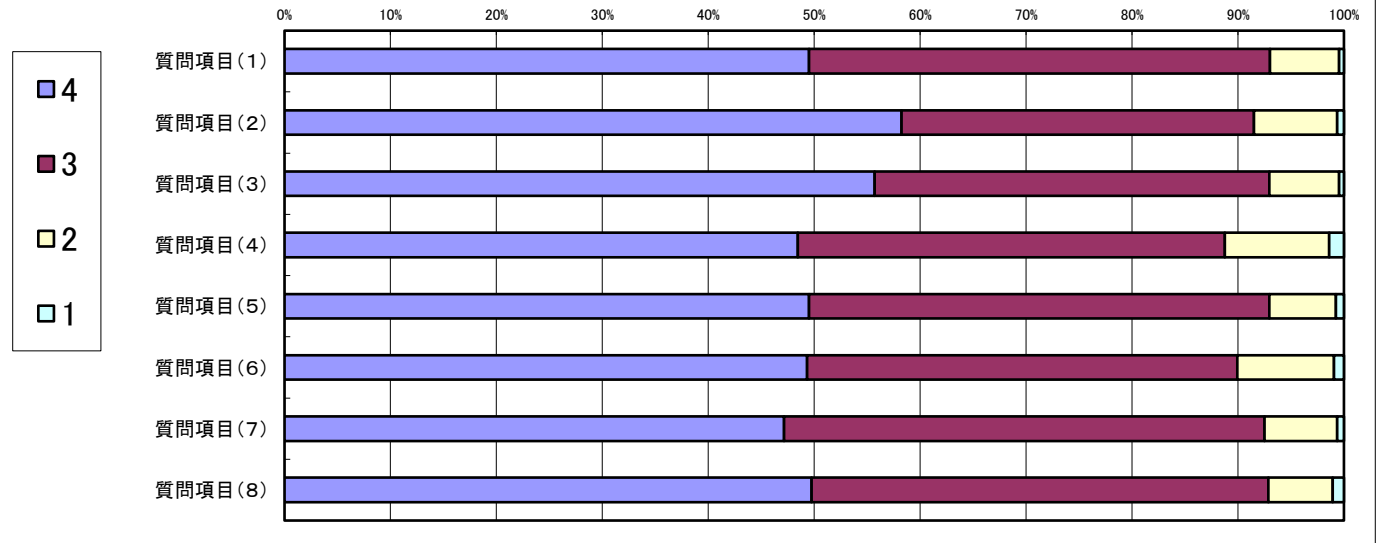
体育



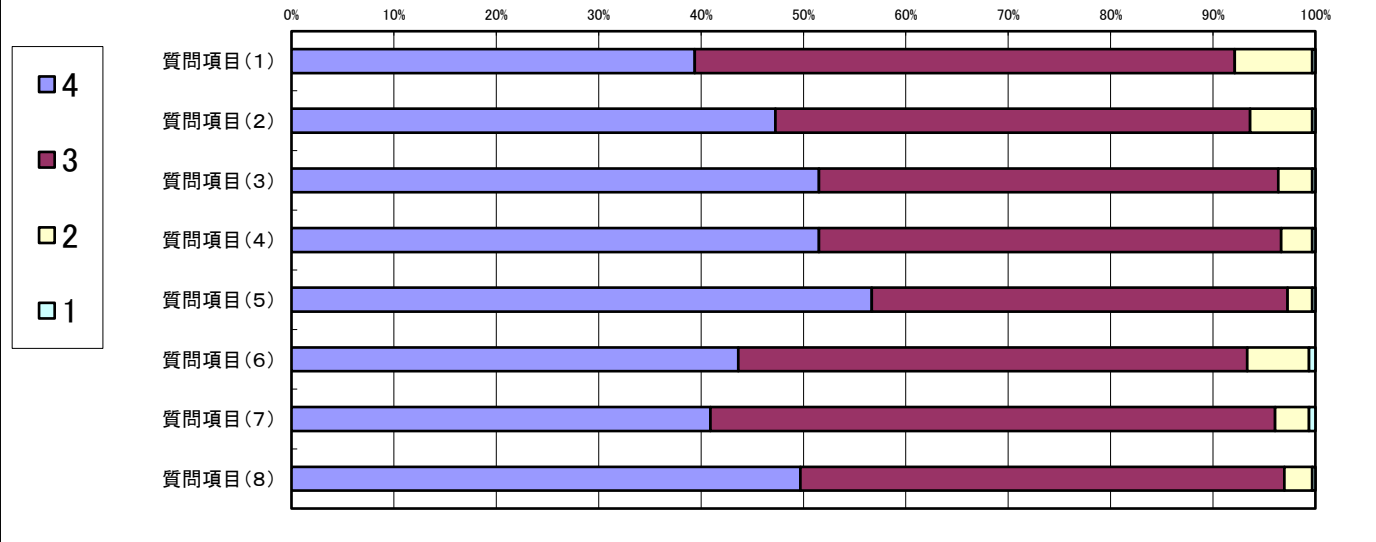
芸術



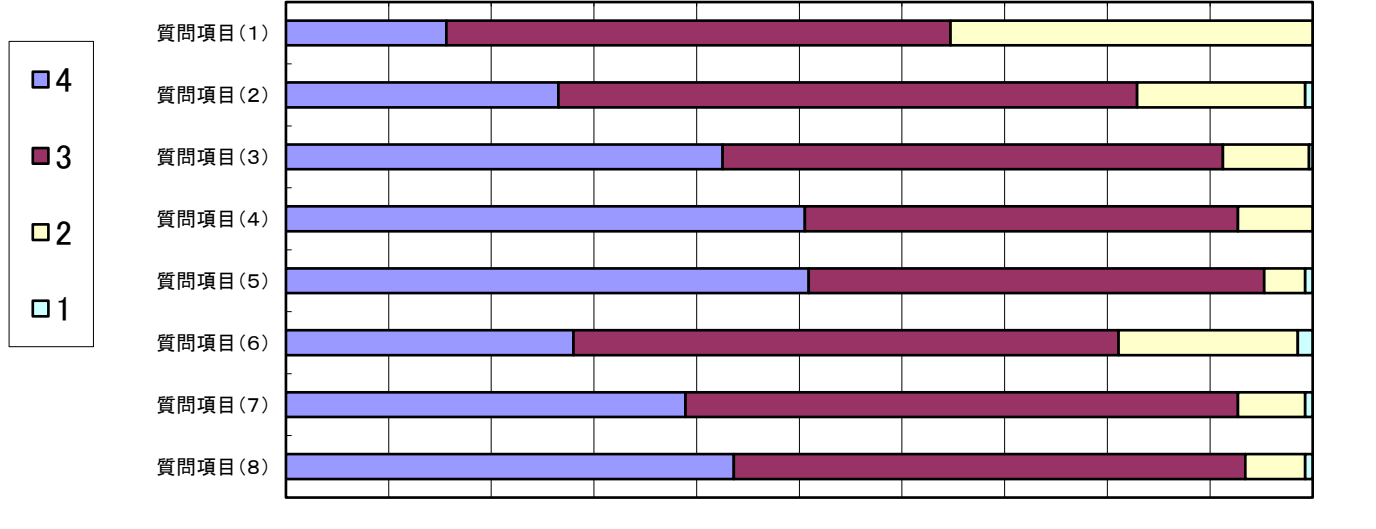
外国語・国際



家庭・看護



情報



令和元年度 第2回「生徒による授業評価」教科報告

教科	授業評価分析結果・課題点	授業改善に向けての具体的取組み	
国語	<ul style="list-style-type: none"> 概ね授業に対する満足度は高い。 科目によっては考えが深まった、など力が付いたことが実感しにくいという結果が出ている。 教科横断的な学習に課題がある。 知識や理解の定着度の低い生徒が一定数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> 科目間での差が出ないように情報共有を密に行う。 授業の狙いの提示と振り返りをしっかりと行い身に付く力を明確にする。 他教科との関連性を研究し、情報共有を行う。 振り返りや小テストを確実にを行う。 	
公歴 地理	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の満足度は概ね高い。 現実社会と関連づけて学ぶ機会に対する評価は高いが、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会が、他の項目と比較するとやや低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに演習問題やワークに取り組みせたり、グループ別に話し合う機会をつくり発表させることで、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深められるように努める。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> 満足度は概ね高い。 教科横断的な内容が少ない。 ほとんどのクラスに一定数授業の理解度の低い生徒がいる。 他生徒の考えに触れる機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年が上がるにつれて満足度の割合が下がっているので基礎力の定着を図る。 数学的な見方・考え方が、実生活や社会でどう使われているか等を取り入れて関心を深めていきたい。 より関心を引く題材、質問しやすい雰囲気づくり、声掛け等に対応していく。 発問の工夫、グループワーク、発表の機会を意識的に作ることで他の生徒の考えに触れる機会を作る。 	
情報	<ul style="list-style-type: none"> 社会と情報においては、(1)の項目の評価が比較的低い。 表現メディアや情報デザインにおいては、(4)の項目の評価が比較的低い。 情報の科学においては、どの項目の評価も概ね高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の授業や単元(内容のまとめ)のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返る機会を設ける。 授業の中で、他の教科内容や現実社会と関連づけて学ぶ機会を設ける。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 満足度は概ね高い。 科目や講座で偏りがあるものの、他者との意見交換を通して、自分の考えを広げる項目が低い傾向にある。 自身の取組について、ある程度良好であるが、授業中での達成感が少ない科目がある。 科目により、現実社会と結び付けて学ぶ機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 科目間で積極的に意見交換の機会をつくり、今後の教材研究へ活かす。 教科会等で成功した事例を聞き、意見交換しやすい題材や発問の仕方、展開方法など教授法について検討する。 生徒ができるようになったと実感できるよう、段階をおって学習ができるよう教材を工夫する。 科学技術や健康など、現実社会との関係が密接な単元において、関心が深まるような題材を取り入れるなど意識して、教材研究を行う。 	
体育 保健	<ul style="list-style-type: none"> 満足度は概ね高い。 体育の授業では、他教科や社会との関連付けにおいて課題がある。 保健では、扱う単元(飲酒や喫煙等)が自分のこととして捉えることが難しい為、(5)評価が低いと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 更に生徒が意欲的に参加出来るよう、意見交換等を行い、よりよい教材の作成や方法を共有していきたい。 運動を健康と関連付けたり、科学的に運動を紐解いて説明したり、生徒への伝え方を工夫したい。 自分のこととして捉えられるよう、取り上げ方を工夫したい。 	
芸術	音楽・演劇	<ul style="list-style-type: none"> 概ね授業に対する満足度は高い。 考えが深まったかどうか実感しにくいという生徒がいる。 更に教科横断的な学習に結び付ける手立てが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 実技と講義のバランスを工夫して、更に満足度を高める。 授業のねらいの提示方法を改善し、振り返りの時間を充分確保する。 授業の中で、歴史的背景や言語の違いを意識した内容を増やす。
	美術・書道	<ul style="list-style-type: none"> 学習のねらいや単元ごとの学習の振り返りについて、おおむねしっかり実施できている。 他教科や現実社会と関連づけた学びについては、やや不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の開始と終了時に目標の設定や、振り返りのための時間を充分確保する。 自然科学的な見方や社会における芸術の役割について考えさせる機会を増やす。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に満足度は高い。特に、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会は確保できている。 授業で学んだことや得た知識をより幅広く関連付けることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒同士の考えを共有する機会をさらに充実させ、自らの考えを広げ深めるように授業を活性化させる。 授業で扱う題材を生徒が幅広く応用できるように、授業の中でさらに題材を深く考察する機会をつくる。 	
看家 護庭	<ul style="list-style-type: none"> 全体的な満足度は概ね高い。 科目によっては、他社との意見交換や現実社会と結び付けて学ぶ機会が少ないものがある。 教科横断的な学びの具体的な実施に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 科目間、講座間による差が出ないよう、教科内での情報共有と特に実習内容についての共通理解を深める。 題材設定、学習の振り返りを工夫し、幅広く学べる内容となるよう、教科内の協議を続け、実習の狙いをより明確に伝える。 本来他教科との連携を生かしやすい教科であるため、他教科と具体的な内容を共有する。 	